



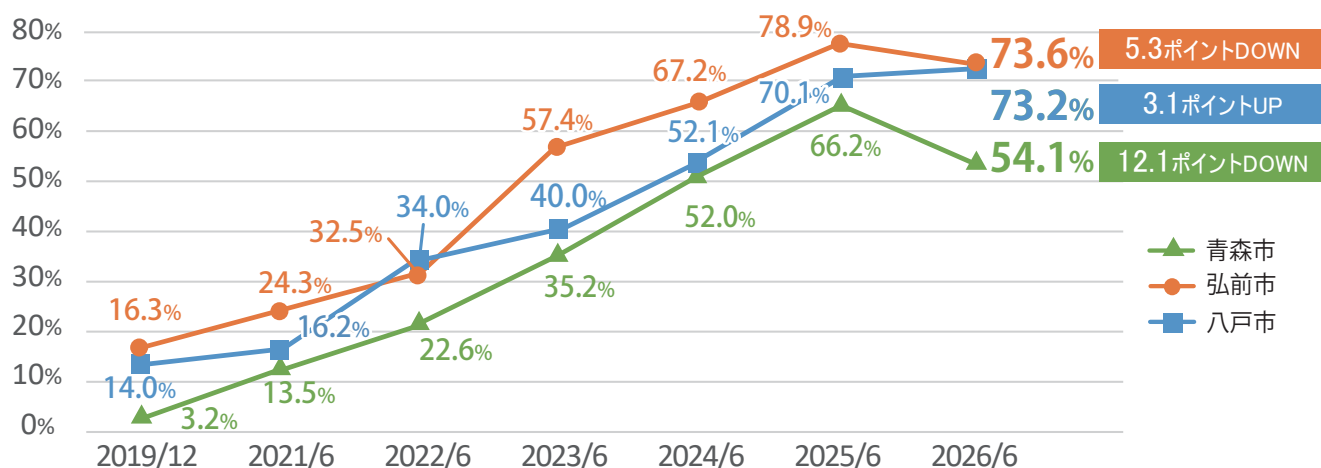
NEWS RELEASE

2026 年 6 月 25 日

6月25日は無事故の日 信号機のない横断歩道3市の停止率 調査結果

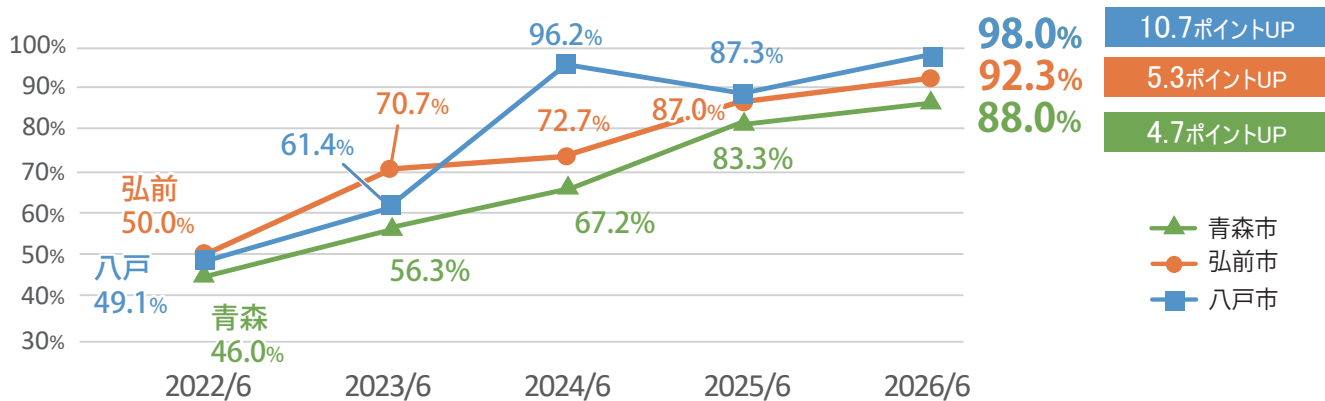
① 手上げなし

信号機のない横断歩道における車の一時停止率（(株) ムジコ・クリエイト調べ）



② 手上げあり

信号機のない横断歩道における手上げ時の、車の一時停止率（(株) ムジコ・クリエイト調べ）



青森県内の信号機のない横断歩道における一時停止率の向上を目指す「Challenge2026」プロジェクト。プロジェクトを主催する(株) ムジコ・クリエイトでは、プロジェクトの発足のきっかけとなった全国調査（信号機のない横断歩道における車の一時停止率／一般社団法人日本自動車連盟（以下 JAF）調査）を参考に、2025 年 6 月、県内 3 市の「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率」の独自調査を実施しました。調査方法は JAF の公開内容に準じ、調査時の交通量目安やカウント方法は統一の基準を用いています。

調査の結果、各市の一時停止率は**青森市 54.1%、八戸市 73.2%、弘前市 73.6%**でした。なお、歩行者が手上げ時の一時停止率はそれぞれ **88.0%、98.0%、92.3%** となりました。

本年の調査では、横断歩道の手前で早期減速し、余裕をもって停止する車両が見られるなど、ドライバーの意識向上がうかがえました。また、歩行者の意思表示（手上げ等）があった場合の停止率は非常に高く、その有効性も改めて確認されています。一方で、減速しながらも通過してしまう車両や、横断歩道付近の歩行者に気づかないドライバーもいるなどの課題も浮き彫りとなりました。交通事故を減らし、思いやりあふれる交通社会のためにはドライバー同士やドライバーと歩行者のコミュニケーションが不可欠です。

当プロジェクトではこの結果を踏まえ、歩行者に優しい交通環境の実現へ向け、取り組みをさらに強化してまいります。

Challenge2026 の趣旨

私達は Challenge2026 を通じて、青森県のドライバーや歩行者等がお互いに思いやりを持ち、明るく気持ちの良いコミュニケーションを取り合う事により本当に安全な交通社会を作っていく事ができると考えて、2019 年よりプロジェクトをスタートしました。

より多くの団体や企業様にご賛同頂き、団体や企業ドライバー、職業ドライバーから思いやり行動の取れる運転者が増えて、「横断歩道で止まる」「譲り合う」事が当たり前の交通社会にしていきたいと思っています。

そして、あおり国スポ・障スポが開催される 2026 年には日本一横断歩道で止まり、思いやり行動の取れるドライバーを増やして、来青した方々をおもてなししていきたいと考えています。

横断歩道横断歩行者の保護等に関するルール＆マナー

ドライバー

- 横断歩道は歩行者優先です
罰則：点数 2 点・反則金（大型車 12000 円、普通車 9000 円 etc）
- 横断歩道に近付いた時は横断歩行者がいないか安全確認しましょう。
- 横断しようとする歩行者がいない事が明らかな場合を除き、横断歩道の手前で停止できるような安全な速度で進行しましょう。
- 歩行者が横断している時や横断しようとしているときは横断歩道の手前（停止線があるときはその手前）で一時停止をして道を譲らなければなりません。
- 運転者は譲る時にはジェスチャー等で歩行者に伝えましょう。

運転中は横断歩道の標識を意識しましょう



横断歩道の手前にある標示も意識しましょう

歩行者

- 横断歩道が近くにある所では、横断歩道を渡りましょう。
- 歩行者用信号機がある所では、信号に従いましょう。
- 歩行者優先でも譲られたら感謝の気持ちを伝えましょう。

Challenge 2026



横断歩道一時停止率 全国一位へ
あおり国スポ・障スポは「思いやり運転」でおもてなし

Challenge 2026

主催：(株)ムジコ・クリエイト

後援：青森警察署・青森県警察・青森市・一般社団法人青森県安全運転管理者協会

一般社団法人日本自動車連盟（JAF）青森支部・八戸警察署・八戸市・弘前警察署・弘前市

● 本件に関するお問合せ、取材等は下記までお願いいたします ●



〒036-8053 青森県弘前市和泉 1 丁目 3 の 1 TEL 0172-28-2727

担当：経営戦略室 棟方（e-mail satoru.munakata@mujicocreate.co.jp）

※不在の場合は上記アドレスまでメールでご連絡ください。すぐに折り返しさせていただきます。